

豊松協働支援センターだより・結い

令和5年3月16日
豊松協働支援
センター発行
第66号



笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり



日ノ郷百歳体操かよいの場（代表：永友房美さん）は毎週金曜日午前9時から行っています。



令和1年10月から始めていますが「年数がたっても全然変わらないね」と最高齢（95歳）の方に話されていました。皆さん和気あいあいと笑顔で行われていました。誘い合って皆さん来てください。（2月24日）



まず近況報告から始まり心をほぐし、体操をして身体をほぐし、最後に脳トレ（迷路・間違い探し）をして脳をほぐし、心身ともにリフレッシュ！！令和3年4月から始めています。

有木振興会百歳体操の紹介！！



有木百歳体操すこやかさん（代表：小坂貴さん）は毎週月曜日午後13時30分から行っています。どしどし参加してください。

豊松小学校
がんばってます！！



豊松小学校の子ども達が「豊松」を日本中に、いえ世界中の人々にもっと知ってもらおうとPR用の動画を作成しています。その第1段（幸運仏・鶴岡八幡神社）が出来たので視聴して欲しいという事で、とよまつ総合センターの皆で視聴し感想や意見を出し合いました。第2段・第3段も作成予定だそうです。楽しみにしています。



動画は支援センターのホームページ・YouTube等でご視聴下さい。



平成30年11月から始めて5年目を迎えます。「足腰が元気になった。」「家にいるより良いわ。」との話です。参加されている方は家でもテレビを観ながら行われているようです。（2月24日）



毎週金曜日午後13時30分から有木元気百歳体操（代表：小坂テルミさん）を行っています。参加してみませんか。



とよまつ保育所は2月3日の節分に「怖〜い赤鬼と青鬼」がやって来たので元気な声で「鬼は外！福は内！」と豆まきをして追い払いました。年齢の数だけ豆を食べれたかな？子ども達みんなに良いことがありますね。



2月の「マナー教室」は保育所の園児の皆さんと楽しくお茶会をしました。小学生は少し緊張気味でしたが、点てたお茶を美味しく飲んでもらい子ども達は満足そうでした。（2月18日）





「お菓子作り教室」を2月13日に行いました。翌日のバレンタインにむけてみんなで協力しながら奮闘し、とっても美味しい「チョコブラウニー」ができました。



2月4日に上豊松の寺谷集会所で井上美代子さんを講師に「味噌づくり教室」を行いました。材料の「大豆・麹・塩」など準備して頂いており、その材料を混ぜたり機械でつぶしたり、参加者多数だったのであつという間に個人の樽に収まりました。1年後が楽しみです。井上さんご夫婦には大変お世話になり、ありがとうございました。



ものづくり教室では「ステンドグラス風アート」の作品を作りました。まず下絵を選びその絵を黒色で縁取りし色を入れていきます。ガラスに描ける油性絵の具で皆さん楽しく色塗りをしていました。(2月18日)



細巻き(鉄火・カップ・シンコ)・茶碗蒸し・天ぷらの献立で「男の料理教室」を開催しました。えびのさばき方・細巻きの巻き方・天ぷらの衣つけや揚げ方など、一人ひとり体験をしながら、楽しく料理ができました。味はとってもおいしくて皆さん満足です！(2月14日)



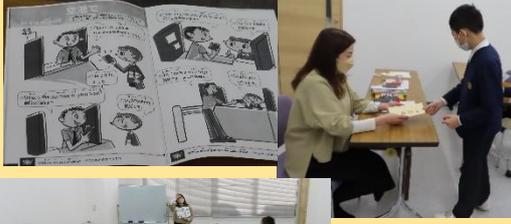
「雛人形」「水仙」「つくし」地域住民の方の作品です。素敵ですね!!

春がきたよ~♪



新年度がスタートする4月、最も一般的な異名は「卯月(うづき)」です。「卯花月(うのはなづき)」と呼ばれることもあり旧暦で「卯の花が咲く月」であることから名づけられました。卯の花はツツギの花の別称で日本では主に5~6月に開花します。それ以外の説として、卯月の「う」は「初(うい)」や「産(うぶ)」などを意味し稲作など農耕の始まりという意味もあるようです。「種月(うづき)・「植月(うえつき)」は稲の苗などを植える月という意味で「木葉採月(このはとりつき)」は蚕に食べさせるための桑の葉をとる月というのが由来。また、「花残月(はなのこりつき)」は北日本では桜が残っている時期で楽しむことができることからだそうです。4月の異名には美しい自然を愛でるだけでなく昔から農耕を進める上で重要であることが感じられます。

2月16日の「英会話教室」はパスポートの内容について学びました。擬似のパスポートに自分自身のこと(氏名・生年月日等)を英語で書き入れて空港の「入国審査」に英語で答えていました。



●申込み・問い合わせは● 720-1704 広島県神石郡神石高原町下豊松741番地
豊松協働支援センター 【電話 0847(84)2226】



フェイスブック



ホームページ



YouTube